

STAEDTLER® marsmatic700

マルスマチックの使用方法

- マルスマチックはスプリングシール①でインクの乾燥を防ぎ、インクのボタ落ちや、漏れをペン先の独特な溝きり③で解消した、精密かつ高性能なドイツの製図ペンです。
- マルスマチックは、線引き・レタリング両用の製図ペンで設計製図・デザイン・グラフィック・イラスト・版下作成などに幅広くご使用いただけます。
- コンパス・テンプレート・レタリングガイドなどを併用すると応用範囲が広がります。



インク注入前のチェック ホルダー⑦を外し、ニブキー⑧でペン先がゆるんでいないか確かめる。

インクの注入 インクタンク⑥を抜きスポイトの先をインクタンクの内側に触れさせながら上部5mmを残すくらいの量を注入する。

(注)インクには寿命がありますので出来るだけ新しいインクをご使用ください。長年放置するとボトル内でインクの粒子が結合しペン先で詰まったり、ボトル内で分離したりすることがありますのでご注意ください。

書きはじめ インクタンク（又はカートリッジ）をグリップ④に差し、必ずホルダーを付けてから、製図ペンを上下に3～5回軽く振ってください。ペン先をティッシュペーパーなどに着けて、インクが出てきているか確認してください。



垂直にして筆記 インクペンは垂直に近い状態で書くことを基本考えられているので出来るだけ垂直に近い状態で筆記してください。また、軽いタッチで書いてください。

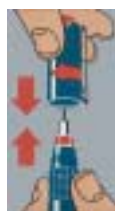
強く筆圧をかけてもインクの濃さや線の太さは変わらないばかりかかえって紙の繊維などをペン先に付着させ目詰まりの原因となります。



使用後は ティッシュペーパー等でペン先に付着しているインクや用紙の繊維などの汚れを拭いた後、キャップをしっかりと締めて横置きにして保管してください。

*1週間以上使用しない場合は後述の「洗浄方法」に従って洗浄を行ってください。

次回の書き出し ティッシュペーパーなどでインクが出ていることを確認し、試し書きをしてからご使用ください。
*インクが出ていない状態で試し書きをするとペン先を傷めることがあります。



キャップの掃除 目詰まり防止のためにキャップ内のスプリングシールに付着した、汚れやインクを時々綿棒などでクリーニングしてください。

*キャップが十分に締まっていなかったり、目詰まりして書けない細いペンを強く振ると極細の中針ワイヤー②が曲がったり切れたりする場合があります。

極細ペン(0.2mm以下)をご使用の場合は、出来るだけインクを抜き、洗浄して保管してください。